

第7回（4月）「中国で体験した文化の違い」

石井夏月

今月の研修員だよりでは、私が日本とは全然違うと感じた中国の学校生活とフードデリバリー文化について紹介していきたいと思います！



写真 1 入寮したばかりのころの部屋

まずは中国の学校生活についてです！私が特に驚いたことは、中国では基本的にほとんどの学生が大学の寮で生活しているということです。そして一人部屋はなく、払う金額によって二人部屋、四人部屋、六人部屋を選んで生活します。私も現在雲南大学の寮内で三人のルームメイトとともに生活をしています(写真1)。日本では、一人暮らしの学生も多くいますが中国ではあまり見かけません。そして、アルバイトをするという文化也没有。中国の大学は比較的授業数が多く、また終わる時間も遅いためアルバイトをする時間があまりないように思えました。また、学業に専念するという考えの学生も多いように感じます。現地の学生に、日本では一人暮らしをしている学生が多く、アルバイトもほとんどの学生がしているということを伝えるととても驚かれました

寮生活をする上での寮内の規則もとても多いです。私が通っている長野県立大学では一年生次全寮制をとっているため、私は日本でも一年間寮生活を経験しました。そこで、雲南大学の寮と長野県立大学の寮の私が特に違うと感じた規則を比較していこうと思います。

	雲南大学	長野県立大学
電子機器の使用	不可	可
門限	有	有
部屋の衛生管理	有	無

まずは電子機器の使用についてです。雲南大学では基本的にほとんどの電子機器（ドライヤー、ヘアアイロン、電気鍋、電気ポットなど）の使用は禁止されています。長野県立大学の寮は電気ポットや電気カーペットなど、電圧が高い若しくはすでに設置されている設備は持ち込みが禁止されていますが、ドライヤーやヘアアイロンなどは使うことができます。また、節電と夜更かしを防ぐために深夜帯（0：00～6：30）はブレーカーを落とされ、電気を使うことができなくなります。門限はどちらも変わらずあるのですが、中国では毎日査寝という全員いるかどうかの人数確認が行われます。そして、週に一度管理人の方が全部屋を回り部屋が綺麗に保たれているかという衛生チェックを行います。私は部屋を片付けるのが苦手な

のですが、このチェックのおかげで部屋を綺麗に保てています！この大きな規則の違いに慣れるまでは大変だったのですが、現在は慣れてきてとても楽しく毎日を過ごしています！

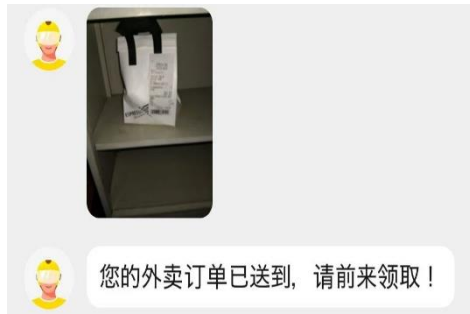


写真 2 配達完了時のメッセージ

了したらアプリ内のチャット機能を通して、商品の写真とメッセージが送られてきます（写真2）。

次に、フードデリバリー文化について紹介していきます！中国では主に美团外卖 (meituan) 饿了么 (eleme) の二つのアプリが使われています。飲食店の食べ物やスーパーマーケットの商品（野菜や調味料、日用品など）、花束など、基本的にほとんどのものをデリバリーで家まで届けてもらうことが可能です。寮生活の場合、配達員の方が学校の敷地内に入れないため敷地外の既定の場所へ配達してもらうことが可能です。配達が完



写真 3 美团的配達員

また、街中では様々なところで配達員の方を見かけます。配達員の方たちは基本的に企業のイメージカラーのものを身につけています。ですので、黄色い服を着た配達員の方は美团外卖の方、青い服を着ている配達員の方は饿了么の方だと一目見たらわかります。また、お昼時など注文のピークの時間帯になるとオーダーをいち早く受けるため飲食店の近くで待機している配達員の方をよく見かけます。ヘルメットにウサギの耳がついている方や、ぬいぐるみが乗っている方もよくいるので、中国を訪れる機会があればぜひ街中で探してみてください！

ここで驚いたのが、商品の値段が変わらないことと配送料がほとんどかからないことです。なので、デリバリーの際にかかる金額は直接お店に行って商品を買うのとあまり変わらず、商品代に追加で配送料が0~3元（0~約60円）とテイクアウトの容器代1~2元（約20~40円）がかかるだけということになります。地元の方に聞くと、配送料が3元を超えていたらそのお店で頼まないとも言っていました。私の中でデリバリーは普段の料金よりもとても高いというイメージがあったため、初めてデリバリーを頼んだ時は安すぎて少し不安になってしまいました。また、中国では飲食店で食事をする際、ほかのお店の商品を持ち込んで飲食することが可能です。そしてなんと、自分がいる飲食店にデリバリーを利用して食べ物や飲み物を届けてもらうこともできてしまいます。日本では見られない光景なのでとても驚きました。届け先の住所があれば届けてもらえるので家ではなくホテルに設定しても配達してもらえるので中国へ来る際はぜひ一度デリバリーを体験してみてください！